



小布施町のガラス温室「フラワーセンター」にチップボイラを導入しました。2022年5月に策定された「小布施町環境グランドデザイン」に基づき、2030年までにCO₂を50%削減するための実証事業として採用されました。



フラワーセンターのガラス温室。「花のまちづくり」に向けた花卉の苗の栽培に取り組んでいます。



ボイラで作った温水はハウス内のエロフィン・チューブを介して自然対流で放熱されます。



ボイラ室は鉄製のコンテナ方式。どのような現場でもコンパクトに収まります。

メーカー	ギレス (オーストリア)
型式	HPK-RA 49
出力	49kW
燃料	乾燥チップ (水分35%以下)
ボイラ庫	鉄製コンテナ式
サイロ	木製 (8m ³)
遠隔監視	オンサイト (チップ残量通知ほか)
用途	宿泊施設の給湯(風呂等)と床暖房
設計・施工	ラブ・フォレスト株式会社

注) ギレス社は2020年にハーガスナー社に吸収された為、現在はハーガスナー社がサポートしています。



小型の木製サイロ。チップはバケットローダで上部から投入します。開閉は手動のウインチ。



既存の重油ボイラに新たに蓄熱槽 (3トン) を接続し、チップボイラで足りない熱を重油ボイラで補完しています。